

事業所名		トイロ 衣笠（児童発達支援）				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7	年	11	月	1	日	
法人（事業所）理念		遊びと体験でやりたいを応援														
支援方針		たくさんのお友達と一緒にさまざまな「遊び」や「体験」を経験することを通して、心と体の成長を最大限のものとなるよう支援し社会的な集団生活に必要なマナーやコミュニケーション力の育成を図ります。発達に特性がある子どもたちの安心・安全な居場所として存在し、自分らしく過ごしながら行動面・学習面・コミュニケーション面などの側面から支援を行い、子どもたちの生活や社会経験がより豊かになるように支援します。子どもたちが楽しく参加出来る外出イベントも多数実施し、地域交流を積極的に行いながら社会との繋がりを育てていきます。														
営業時間		11	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無		あり			なし	
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	・クッキングイベント（食育）...その日のメニューに必要な食材を近所のスーパーへ買いに行き、みんなで協力／役割分担をして調理した料理やおやつを食べる ・地域にある児童公園や自然公園へ行き、太陽光を浴びながらの散歩や遊具遊び等を通して、健康増進を図る ・必要に応じて、食事サポートや排泄トレーニング等の日常生活課題に取り組む														
	運動・感覚	・トランポリン、バランスボール、マット、平均台等を使ってサーキットトレーニングに取り組み、体幹強化や体力増進、運動機能の向上を図る ・スライム作り、新聞紙プール、ボールプール、風船バレー、手作り楽器の演奏会等の感覚統合遊びをイベントに盛り込み、五感＋固有感覚＋前庭感覚（バランス感覚）の発達の土台を作ると共に、感覚過敏や感覚鈍麻の課題にも取り組む ・聴覚過敏等の課題を抱える児童については、相談室（静養室）にて過ごせるよう、環境設定に配慮する														
	認知・行動	・迷路、まちがい探し、点つなぎ、模写等の学習プリントを用意し、基本的な認知能力の向上に努めながら就学準備に取り組む ・様々な工作に取り組み、空間認知能力や模倣力、先を見通す力等を養って行く ・見通しを持って行動切り替えが出来るよう、絵カードや写真等も活用したスケジュール表を提示する ・工作、クッキングイベント、ゲーム等のイベント時には、手順書（イラストや写真活用）を提示する														
	言語 コミュニケーション	・紙芝居や絵本の読み聞かせをする中で獲得語彙を増やし、聞く力、想像力や共感性等も育つよう支援する ・ジェスチャーゲームや表情カルタ等の集団ゲームを通して、非言語的コミュニケーション能力の獲得を目指す														
	人間関係 社会性	・SSTカードを使い、色々なシチュエーションごとに「こんな時どうする?」「こんな時何て言う?」を一緒に考え、ロールプレイも行うことで日常生活に活かして行けるよう支援する ・博物館、科学館、動物園、水族館等への外出イベントを実施し、集団やグループで行動する体験を通して順番を守ったり、声の大きさを調整したり、困った時は助け合うことで解決する等の実体験を積み重ねて行けるようにする														
家族支援		・その時々での療育相談に応じる／延長支援 ・パニックや痙攣を起した時の対応方法を共有出来るようにする ・家庭ではなかなか行けない所へ出掛け、非日常体験を通じて世界を広げる						移行支援		・保育園と日常的な情報共有を行い、連携に努める ・小学校入学へ向け、必要な準備を計画的に進めて行く ・保育園から小学校への橋渡しを担う						
地域支援・地域連携		・関連機関との情報共有を行い、横の連携を強める ・地域の商店や各種社会資源を利用する中で、交流を深める ・地域の公園へ行き、その地域の児童達との交流を図る						職員の質の向上		・定期的なスキルアップ研修、虐待防止研修、外部講師による研修を実施。 ・各拠点においては日々の支援の振り返り、ヒヤリハットの共有を実施します。						
主な行事等		春：お花見、ひな祭り 夏：バーベキュー 秋：運動会、紅葉狩り、ハロウィン 冬：クリスマス、初詣、節分 通年：動物園、アスレチック、公園遊び、おやつ作り、工作、実験、室内ゲーム、映画鑑賞等														